

(3) ボランティア活動の促進と支援

現状と課題

これまで我が国では、ボランティアに対して特別な活動というイメージが強く、活動に参加する人々は限られていました。しかし、近年、日常生活にかかわるすべてのことがボランティアにつながるという認識が広がり、国際理解や共生社会の視点からの取組、豊かな町づくりの取組など、さまざまな活動が行われています。

ボランティア活動は、個人の自由意志に基づきその技能や経験、時間等を利用して社会に貢献する活動ですが、これらの活動は、現代的課題を背景に行われることから、豊かで活力ある社会づくり、その社会を支えていこうとする人間づくりに寄与するものです。しかし、活動の拠点となる場がなかったり、活動についての情報が十分に提供されていなかったり、充実した環境が整っているとはいえない現状にあります。

今後は、体験の機会や拠点となる場・情報の提供など、活動の交流支援に努めるとともに、ボランティア活動の活性化を図り、人権を尊重する豊かで生きがいのある地域コミュニティづくりをめざしたいものです。

今後の方向

ボランティア活動の促進

ボランティア活動団体やグループ等の活動は、これまで多く取りあげられることはありませんでした。しかし、社会の変化にともない生じている人権問題や環境問題等について、自主的に取り組まれる活動として社会のなかに位置づいてきています。また、企業においても「良き企業市民」をめざした社会貢献活動が広がってきています。

こうした活動は、新しい活力を生み出す豊かなふれあいの機会となり、人権が尊重されたコミュニティづくりの具体的な実践活動といえます。

今後、より多くの人々がこのような活動に主体的に参加できるよう、行政等が情報提供などについて積極的な支援を行っていくことが必要です。

ボランティア活動の場や機会の提供

ボランティア活動を促進していくためには、活動の拠点が必要になってきます。各地域の隣保館や公民館などの公共施設を積極的に開放していくことが効果的です。また、学校の空き教室などの利用も一つの方法です。

ボランティア活動相互の交流が十分にとられていない実状もあります。今後は、ボランティア団体相互の交流を進めるための機会の提供に努めることが求められます。

このように生き生きと活動できる環境づくりや相互の交流を促進することにより、ボランティア活動への参加促進に向けた雰囲気醸成が図られるも

のと考えます。

こんな活動も・・・

○ある企業では

地域社会に活力を与えるような取組が行われています。

近くの小学生が安心して通学できるよう、社員が週2、3回程度あいさつなどの声かけも大切にしながら、交通安全指導を行っています。

地域の一員として、会社近くを流れる河川の清掃活動を会社ぐるみで行っています。

社会福祉施設に集う人々の生きがいをづくりと経済的バックアップにつながればと考え、授産所への作業をお願いしています。

○ある児童センターでは

子どもや保護者同士のつながりを深めるため、どろんこ遊びや冒険などの自然体験活動を中心に行っています。子ども達と一緒に遊んだり、イベントの手伝いや企画などにボランティアスタッフが活躍しています。ボランティアスタッフは、高校生から社会人までと、年齢や仕事もさまざまですが、それぞれの得意な分野を生かした多彩な活動が繰り広げられています。

今では、魅力的な活動をするために、ボランティアの力がなくてはならないものとなっています。

てんいち先生

